

科目名	国語表現		単位数	4単位	学年	3年	コース	特進文系	必修	
教科書	国語表現(大修館書店)									
副教材・参考書	国語辞典・トータルサポート新国語便覧・国語表現 基礎練習ノート・大学入試国語頻出問題1200 四訂版・ちくま文学講読上級編・新版大学入学共通テスト実践演習論理・文学編									
授業の到達目標	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、論理的思考力や共感する力、想像力を伸ばし、伝え合う力を高めるとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって読書に親しむ態度を育み、言葉を通して他者や社会に積極的に関わる態度を持つ。									
授業内容・進め方	言葉や文章の正しい使い方、原稿用紙の書き方などの基本的な修辞技法や表現技法を、教科書や副教材を用いて学び、適宜実践していく。志望理由書、小論文等の書き方、面接の際の言葉遣いなどについて演習を行う。基礎力を測る小テスト、共通テスト対策、入試問題演習も行う。									
観点別評価の方法	【知識・技能】 定期考査・小テスト等									
	【思考・判断・表現】 定期考査・発表の内容と過程・レポート・小論文等									
	【主体的に学びに向かう態度】 振り返り・相互評価・行動観察等									
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 5:4:1を原則とする									
授業スケジュール										
(1学期)	4月	/	【話す・聞く力】自己紹介・他己紹介・聞く力をつける・身振り手振り・スムーズな会話							
			【情報活用力】ニュース、話題について調べ、まとめる・発表する							
			【言語運用力】言葉の基礎・表現のコツをつかむ							
	5月	考査実施	【評論・随想】「ニワシドリの庭」(加藤幸子)／「ささやかな時計の死」(村上春樹)							
			【話す・聞く力】自己分析・他己分析をして自分史を作る・人前で話す							
	6月	/	【情報活用力】ニュース、話題について調べ、まとめる・スピーチする							
			【書く力】書いて説明する・書いてアピールする・論理的に正しく書く							
			【評論・随想】「知識の扉」(港千尋)／「文学のふるさと」(坂口安吾)							
	7月	考査実施								
	(2学期)	9月	/	【情報活用力】ニュース、話題について調べ、まとめる・ディスカッションする						
				【書く力】読む側を意識して小論文等を書く・分析する						
				入試問題演習・分析(大学入学共通テスト・一般選抜)						
10月		考査実施								
11月		/	【情報活用力】ニュース、話題について調べ、まとめる・議論する							
			【書く力】小論文等の演習							
			入試問題演習・分析(大学入学共通テスト・一般選抜)							
12月	考査実施									
(3学期)	1月	/								
	2月	/								
	3月	考査不実施								

科目名	古典	単位数	3単位	学年	3年	コース	特進文系	必修
教科書	精選 古典探究(大修館書店)							
副教材・参考書	古語辞典・精選古典探究学習ノート・トータルサポート新国語便覧・完全マスター古典文法改訂三訂版・わかる・読める・解けるKey&Point古文単語330三訂版・基礎から解釈へ漢文必携五訂版・漢文必携チェックノート基本編五訂版・大学入試国語頻出問題1200四訂版・新版大学入学共通テスト実践演習古文・漢文編							
授業の到達目標	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。							
授業内容・進め方	古典の読解を中心に辞書や副教材を活用し、古典文法・漢文句法・文学史・古典の基礎知識などを関連付け、各教材を味わいながらも、大学受験に対応できる力をつけていく。							
観点別評価の方法	【知識・技能】定期考査・小テスト等、パフォーマンス等(発表等の態度・内容・過程、論述の成果物)							
	【思考・判断・表現】定期考査等、パフォーマンス等(発表等の態度・内容・過程、論述の成果物)							
	【主体的に学びに向かう態度】振り返り(自己評価・他己評価)、行動観察							
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 =5 :4 :1 を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月		古文:日記『更級日記』『門出』					
	5月	考査実施	入試問題演習(古文・漢文) 大学入学共通テスト・二次・私大対策					
	6月		古文:物語『大鏡』『鶯宿梅』					
	7月	考査実施	漢文:文章『唐宋八家文読本』『捕蛇者説』					
	7月	考査実施	入試問題演習(古文・漢文) 大学入学共通テスト・二次・私大対策					
(2学期)	9月		古文:物語『雨月物語』					
	10月	考査実施	入試問題演習(古文・漢文) 大学入学共通テスト・二次・私大対策					
	11月		漢文:史伝『史記』『荆軻』(一)(二)					
	12月	考査実施	入試問題演習(古文・漢文) 大学入学共通テスト・二次・私大対策					
(3学期)	1月							
	2月							
	3月							

科目名	地理研究		単位数	5単位	学年	3年	コース	特進文系	選択
教科書	『地理探究』 二宮書店								
副教材・参考書	『高等地図帳』・『地理探究ワークブック』								
授業の到達目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。								
授業内容 ・ 進め方	地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解する。地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。								
観点別評価の方法	【知識・技能】		定期考査・小テスト等による評価						
	【思考・判断・表現】		定期考査・小テスト・パフォーマンス課題等による評価						
	【主体的に学びに向かう態度】		パフォーマンス課題・振り返り等による評価						
観点別評価の割合	知識・技能：思考・判断・表現：主体的に学びに向かう態度＝5:3:2を原則とする								
授業スケジュール									
(1学期)	4月	/	第Ⅱ編 現代世界の地誌的考察 第1章 地域区分 ①現代世界の地域区分						
			第2章 現代世界の諸地域						
	5月	考査実施	①中国						
			②朝鮮半島						
			③東南アジア						
	6月	/	④南アジア						
			⑤西アジア・中央アジア						
7月	考査実施	⑥北アフリカ・サブサハラアフリカ							
(2学期)	9月	/	⑦ヨーロッパ						
			⑧ロシア						
	10月	考査実施	⑨アングロアメリカ						
			⑩ラテンアメリカ						
	11月	/	⑪オーストラリア						
			⑫ニュージーランドと島嶼国						
	12月	考査実施	第Ⅲ編 現代世界におけるこれからの日本の国土像						
①現代日本に求められる国土像									
(3学期)	1月	/							
	2月	/							
	3月	考査不実施							

科 目 名	日本史研究	単位数	5単位	学年	3年	コース	特別進学	選択
教 科 書	『詳説 日本史』(山川出版社)							
副教材・参考書	『詳説日本史図録』・『一問一答日本史』・『要点整理ゼミナール日本史』等							
授業の到達目標	1.日本史の学習を通して、国際社会に生きる市民として自国への理解を深め、将来に生かすことができる力を養う。 2.単なる知識量だけではなく、思考力・分析力等の育成を目指し、論述力も高め、大学入試に向けた実践力を養う。							
授 業 内 容 ・ 進 め 方	教科書の内容をふまえたうえで、歴史的思考力を高めながら自ら判断する機会を取り入れた講義形態やグループワーク等で実施。 適宜、副教材や視覚教材等を使用し、プリント作業・小テスト・演習等を行う。							
観点別評価の方法	【知識・技能】		定期考査・小テスト等による評価					
	【思考・判断・表現】		定期考査・小テスト・パフォーマンス課題等による評価					
	【主体的に学びに向かう態度】		パフォーマンス課題・振り返り等による評価					
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 5 : 3 : 2を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月	/	第IV部 近代・現代					
			第11章 近世から近代へ 2 幕末の滅亡と新政府の発足					
	5月	考査実施	第12章 近代国家の成立 1 明治維新と富国強兵 2 立憲国家の成立					
			第13章 近代国家の展開 1 日清・日露戦争と国際関係 / 2 第一次世界大戦と日本 3 ワシントン体制					
	7月	考査実施	第14章 近代の産業と生活 1 近代産業の発展 / 2 近代文化の発達 / 3 市民生活の変容と大衆文化					
			第15章 恐慌と第二次世界大戦 1 恐慌の時代 / 2 軍部の台頭 / 3 第二次世界大戦 第16章 占領下の日本 1 占領と改革 / 2 冷戦の開始と講和					
	10月	考査実施	第17章 高度成長の時代 1 55年体制 / 2 経済復興から高度経済成長へ 第18章 激動する世界と日本 1 経済大国への道 / 2 冷戦の終結と日本社会の変容					
			入試問題演習(共通テスト対策も含む)					
12月	考査実施	入試問題演習(共通テスト対策も含む)						
(3学期)	1月	/						
	2月	/						
	3月							

科目名	世界史研究	単位数	5単位	学年	3年	コース	特進文系	選択
教科書	『詳説 世界史』(山川出版社)							
副教材・参考書	『山川 一問一答』・『世界史・NEW・STAGE世界史詳覧』・『要点整理ゼミナール世界史』等							
授業の到達目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。							
授業内容 ・ 進め方	世界史探究の内容を土台に、さらに世界史に関する知識を深める。復習や実践問題を通して、生徒自身が新たな発見をするように「学習→関連付け→更なる知識の獲得」となるよう、世界史の内容を幅広く取り扱う。							
観点別評価の方法	【知識・技能】 地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、調べまとめる技能を身に付けるように							
	【思考・判断・表現】 多面的・多角的に考察したり、効果的に説明したり、議論したりする力を養う。							
	【主体的に学びに向かう態度】 他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める							
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 =5:3:2を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月		第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成					
	5月	考查実施	第14章 アジア諸地域の動揺					
	6月		第15章 帝国主義とアジアの民族運動					
	7月	考查実施						
(2学期)	9月		第16章 第一次世界大戦と世界の変容					
	10月	考查実施	第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成					
	11月		第18章 冷戦と第三世界の台頭					
	12月	考查実施	第19章 冷戦の終結と今日の世界					
(3学期)	1月							
	2月							
	3月							

科目名	政治経済		単位数	3単位	学年	3年	コース	特進文系	必修
教科書	『政治・経済』(東京書籍)								
副教材・参考書	『新政治・経済資料』・『4ステージ 演習ノート政治・経済』・『用語集 現代社会+政治経済』								
授業の到達目標	(1) 社会の在り方に関わる諸課題の解決に向け、情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。 (2) グローバルな見地から、公正な判断による合意形成や社会参画に向かう力を養う。 (3) 日本および国際社会において国家および社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚を								
授業内容・進め方	教科書・ノートを基本とし、プリントを適宜使用する。調べ学習・グループ学習・発表・レポート提出などを行う。 授業内容・進め方については、生徒の実情に合わせ必要に応じて変更する必要がある。								
観点別評価の方法	【知識・技能】		定期考査・小テスト等による評価						
	【思考・判断・表現】		定期考査・小テスト・パフォーマンス課題等による評価						
	【主体的に学びに向かう態度】		パフォーマンス課題・振り返り等による評価						
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 5 : 3 : 2 を原則とする								
授業スケジュール									
(1学期)	4月	/	現代日本の政治(民主政治)						
			民主政治の基本原則(各国の政治制度)						
	5月	考査実施	日本国憲法(基本原則～平和主義)						
			日本国憲法(国会～内閣)						
6月	/	日本国憲法(裁判所～地方自治)							
7月	考査実施	現代の国際政治と環境問題							
(2学期)	9月	/	資本主義経済の成立						
			現代の資本主義経済(市場経済と国民所得)						
	10月	考査実施	現代の資本主義経済(金融～財政)						
			日本経済の発展(戦後の経済復興～バブル崩壊)						
11月	/	日本経済の発展(金融不安～日本経済の課題)							
		国際経済(世界貿易)							
12月	考査実施	現代の国際経済(発展途上国と今後の課題)							
(3学期)	1月	/							
	2月	/							
	3月								

科目名	倫理	単位数	2単位	学年	3年	コース	特進文系	選択	
教科書	詳述倫理(実教出版)								
副教材・参考書	『テオローリア最新倫理資料集 新版初訂』								
授業の到達目標	青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解を深めさせる。そして人格の形成に努める実践的意欲を高めるとともに、思考力を養い、他者と共に生きる主体としての自己の確立を促す。								
授業内容・進め方	思想や宗教に関する基本的事項の理解を、講義やグループ演習等を通じて深めていく。思想家の思想については、適宜図で示し、視覚的な理解を促す。								
観点別評価の方法	【知識・技能】定期考査・小テスト等による評価								
	【思考・判断・表現】定期考査・小テスト・パフォーマンス課題等による評価								
	【主体的に学びに向かう態度】パフォーマンス課題・振り返り課題による評価								
観点別評価の割合	知識・技能：思考・判断・表現：主体的に学びに向かう態度＝5:3:2を原則とする								
授業スケジュール									
(1学期)	4月	/	第1章 自己形成と自己の生き方 / 第1節 青年期の課題と自己形成						
			第2節 人間とは何か / 第2章 人間としてのあり方生き方						
			第1節 ギリシア思想						
	5月	考査実施	第2節 キリスト教 / 第3節 イスラーム						
			第4節 仏教 / 第5節 中国思想 / 第6節 芸術と人生						
			第3章 社会・世界と人間としてのあり方生き方						
	6月	/	第1節 人間の尊厳						
			第2節 科学・技術と人間						
			第3節 民主社会と自由の実現 / 第4節 社会と個人						
	7月	考査実施	第5節 近代的人間の見直し						
			第6節 現代の暴力に抗して						
	(2学期)	9月	/	第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚					
第1節 古代日本人の思想									
第2節 日本の仏教思想									
10月		考査実施	第3節 近世日本の思想 / 第4節 西洋思想の受容と展開						
			第5章 自然や科学技術にかかわる諸課題と倫理						
11月		/	第1節 生命の倫理 / 第2節 環境の倫理						
			第3節 科学技術の倫理						
			第6章 社会と文化にかかわる諸課題と倫理						
12月		考査実施	第1節 福祉の課題						
			第2節 文化と宗教の課題						
第3節 平和の課題									
(3学期)		1月	/						
	2月	/							
3月	/								

科目名	地学基礎		単位数	3単位	学年	3年	コース	特進文系	必修
教科書	地学基礎(啓林館)								
副教材・参考書	センサー地学基礎(啓林館)、ニューステージ地学図表(浜島書店)								
授業の到達目標	日常生活や社会との関連を図りながら地球と地球を取り巻く環境についての関心や探究心を高め、地学的に探究する能力を育てるとともに、基本的な概念や原理、法則を理解させ、科学的な自然観を育成する。								
授業内容 ・進め方	プリントや資料集を用いて教科書を補いながら進めていき、演示実験や生徒実験も取り入れることで、基本的な概念の確実な理解を目指す。また、実験や問題演習を通じてグループワークに取り組みさせることで協働的な学びを促す。自主的な問題集の取り組みとその反省を通じて、自ら学びに向かう力を育成する。								
観点別評価の方法	【知識・技能】定期考査により評価する。								
	【思考・判断・表現】定期考査、レポート、探究課題等により評価する。								
	【主体的に学びに向かう態度】授業や考査の振り返り、提出物等により評価する。								
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 4 : 4 : 2 を原則とする								
授業スケジュール									
(1学期)	4月	/	第1部 固体地球とその活動						
			第1章 地球						
			第2章 活動する地球						
	5月	考査実施							
			第2部 大気と海洋						
	6月	/	第1章 大気の構造						
			第2章 太陽放射と大気・海水の運動						
			第3章 日本の天気						
7月	考査実施								
(2学期)	9月	/	第3部 移り変わる地球						
			第1章 地球の誕生						
	10月	考査実施	第2章 地球と生命の進化						
			第3章 地球史の読み方						
	11月	/	第4部 自然との共生						
	12月	考査実施							
(3学期)	1月	/							
	2月	/							
	3月								

科目名	体育(男子)	単位数	3単位	学年	3年	コース	特別進学	必修
教科書	新高等保健体育(大修館書店)							
副教材・参考書								
授業の到達目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成する。							
授業内容・進め方	生涯を通じて運動を生活の中に取り入れ、公正、協力、責任をもって実践できるように展開する。各単元の特性を生かし、知識・技能を高めるとともに作戦に応じたプレーを心がけることで思考力・判断力の向上、安全に留意しながら実施する態度の育成をはかる。自己の能力に応じて体力の向上に努める。							
観点別評価の方法	【知識・技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解できているか。							
	【思考・判断・表現】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力が養われているか。							
	【主体的に学びに向かう態度】 生涯にわたり継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度が養われているか。							
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 4 : 3 : 3 を原則とする							
授業スケジュール								
			《体育》男女別習 2単位			《選択体育》男女共習 1単位		
(1学期)	4月	/	体づくり運動			選択①	オリエンテーション	
			新体力テスト				着装・礼法・所作、面・小手・胴	
	5月	考査不実施	バスケットボール パス、シュート 他ルール説明、ゲーム				剣道基本技稽古法(基本1～基本9)	
			ソフトボール キャッチボール、バッティング、ゲーム				面・小手・胴	
6月	/	バレーボール パス、サーブ、レシーブ、スパイク、ゲーム			連続技・体当たり技			
					連続の打ちこみ			
(2学期)	9月	/	ソフトテニス スイング、ボールコントロール ゲーム			選択②	オリエンテーション	
			サッカー ボールコントロール、攻防練習、ゲーム				基本姿勢・動作	
	10月	考査不実施	バドミントン ラリー、サーブ、ゲーム				現代的なリズムのダンス	
			サッカー ゲーム				テーマに合わせた動き	
11月	/				リズムダンスの創作			
					グループ分け、リズム、テーマ決め			
12月	考査不実施				フレーズづくりと構成			
					グループ発表			
(3学期)	1月	/				選択③	オリエンテーション	
							技の名称や行い方 運動観察の方法	
	2月	/					切り返し系	
			回転系					
3月	/				条件を変えた技			
					発展技			
						発表会		
						※2クラス程度で合併して授業を展開する。 ※1年間で2種目選択し、1学期ごとに種目を変更する。		

科目名	体育(女子)	単位数	3単位	学年	3年	コース	特別進学	必修
教科書	新高等保健体育(大修館書店)							
副教材・参考書								
授業の到達目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成する。							
授業内容・進め方	生涯を通じて運動を生活の中に取り入れ、公正、協力、責任をもって実践できるように展開する。各単元の特性を生かし、知識・技能を高めるとともに作戦に応じたプレーを心がけることで思考力・判断力の向上、安全に留意しながら実施する態度の育成をはかる。自己の能力に応じて体力の向上に努める。							
観点別評価の方法	【知識・技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解できているか。							
	【思考・判断・表現】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力が養われているか。							
	【主体的に学びに向かう態度】 生涯にわたり継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度が養われているか。							
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 4 : 3 : 3 を原則とする							
授業スケジュール								
			《体育》男女別習 2単位			《選択体育》男女共習 1単位		
(1学期)	4月	/	体づくり運動			選択①	オリエンテーション	
			新体力テスト				着装・礼法・所作、面・小手・胴	
	5月	考査不実施	バスケットボール パス、シュート 他ルール説明、ゲーム				剣道基本技稽古法(基本1～基本9)	
							面・小手・胴	
6月	/	ソフトボール キャッチボール、バッティング、ゲーム			連続技・体当たり技			
					連続の打ちこみ			
7月	考査不実施	バレーボール パス、サーブ、レシーブ、スパイク、ゲーム			互角稽古			
					試合			
(2学期)	9月	/	ソフトテニス スイング、ボールコントロール ゲーム			選択②	オリエンテーション	
							基本姿勢・動作	
	10月	考査不実施	サッカー ボールコントロール、攻防練習、ゲーム				現代的なリズムのダンス	
							テーマに合わせた動き	
11月	/	バドミントン ラリー、サーブ、ゲーム			リズムダンスの創作			
					グループ分け、リズム、テーマ決め			
12月	考査不実施	サッカー ゲーム			フレーズづくりと構成			
					グループ発表			
(3学期)	1月	/				選択③	オリエンテーション	
							技の名称や行い方 運動観察の方法	
	2月	/					切り返し系	
							回転系	
3月	/				条件を変えた技			
					発展技			
						発表会		
			※2クラス程度で合併して授業を展開する。 ※1年間で2種目選択し、1学期ごとに種目を変更する。					

科目名	英語コミュニケーションⅢ	単位数	5単位	学年	3年	コース	特別進学	必修	
教科書	MY WAY English Communication Ⅲ								
副教材・参考書	ターゲットTarget 1900(6訂版)、SKY WARD SKY Course 2nd Edition(特選)、SKY WARD Ocean Course 3rd edition(特進)、パワーマックス8共通テスト対応模試英語リーディング・英語リスニング(特選)、共通テ								
授業の到達目標	4技能をベースとした活動を通し、知識の統合、情報整理、表現力の向上を図る。また、大学入学共通テスト、個別大学入試問題演習を積み、学んだ知識を体系化させるとともに、トピックス内容を通じて世の中と人類の歩み、これからについて考えていく。								
授業内容 ・進め方	聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの4技能を統合的に結び付けた活動を行う。聞き取ったことや読み取ったことの内容や話の展開を理解、要約する。また、様々なトピックスについて情報を整理し、話す、書く等の表現力を養う活動を行う。								
観点別評価の方法	【知識・技能】 思考、表現に繋げるための知識や技術の定着を定期試験及び各テストで評価する。								
	【思考・判断・表現】 自分の考えを適切に英語で伝える力をつめ、定期試験及びパフォーマンステスト等で評価する。								
	【主体的に学びに向かう態度】 各単元の振り返りや家庭学習の取り組みを参考に主体的に学ぶ態度を評価する。								
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 4:4:2を原則とする								
授業スケジュール									
(1学期)	4月	/	Target 1900復習テスト(2学年時に学習した単語の確認テスト)						
			Strategy fo Listening & Reading①～⑧						
			Lesson 1 "Priceless" Café, "Priceless" Community						
	5月	/	Lesson 2 -Nihonium- A New Element Born in Japan						
			Lesson 3 Tea in the Desert Cimate						
			共通テスト演習・一般入試演習						
	6月	/	Lesson 4 The Benefits of Origami						
			Lesson 5 The Mysteries of English Spelling						
			共通テスト演習・一般入試演習						
	7月	/	共通テスト演習・一般入試演習						
			Lesson 6 Discovery in the Nasca Lines						
	(2学期)	9月	/	パフォーマンステスト(ディベート)					
Lesson 7 Today's Trash is Tomorrow's Treasure									
共通テスト演習・一般入試演習									
10月		/	Lesson 8 Nap Time at School						
			Lesson 9 Dog Tax						
共通テスト演習・一般入試演習									
11月		/	Lesson 10 Space Development						
			共通テスト演習・一般入試演習						
12月		/	共通テスト演習・一般入試演習						
(3学期)		1月	/						
	2月	/							
	3月	/							

科目名	論理・表現Ⅲ	単位数	2単位	学年	3年	コース	特別進学	必修
教科書	Vision Quest English Logic and Expression Ⅲ 啓林館							
副教材・参考書	Vision Quest English Logic and Expression Ⅲ サブノート 啓林館							
授業の到達目標	スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、複数の段落から成る文章を書くことなどを通して、聞き手や読み手を説得できるよう、論理の構成や展開を工夫して話したり書いたりして詳しく伝える又は伝え合うことなどができるようになる。							
授業内容 ・ 進め方	各レッスン、トピックに関する記述モデル文を確認し、文法機能表現の練習を行う。続いて「聞く」「話す(やりとり)」「話す(発表)」「書く」などの総合的な活動へと展開する。またレッスンごとに「書く」又は「話す」力を評価するパフォーマンステストを行う。							
観点別評価の方法	【知識・技能】 音声・語彙・表現・文法 定期考査							
	【思考・判断・表現】 話す(やり取り)・話す(発表)・書く 定期考査・パフォーマンステスト							
	【主体的に学びに向かう態度】 自律性・主体性・自己評価(振り返り)による学習調整の観察・評価							
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 =4:4:2 を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月	/	Lesson 1,2【学習・言語】Level 1. Writing 複数パラグラフ 相談メールへの回答					
			Lesson 3【心理】Level 1. Speaking「自分はどんな人物か」をスピーチ					
	5月	考査不実施	Lesson 4【心理】Level 1. Speaking「自分はどんな人物か」をスピーチ					
			Lesson 5,6【健康】Level 1. Speaking「自分の健康法」をプレゼンテーション					
	6月	/	Lesson 7,8【異文化】Level 1. Speaking「複数部活動への参加の是非」をディベート					
			Lesson 9【情報化社会】Level 1. Speaking「ネット上のトラブル」をディスカッション					
	7月	考査実施	Lesson 10【情報化社会】Level 1. Speaking「ネット上のトラブル」をディスカッション					
	(2学期)	9月	/	Lesson 11,12【社会構成】Level 2. Writing 3パラグラフ Eメールで意見交換				
Lesson 13【経済】Level 2. Speaking「電子決済のメリットデメリット」をスピーチ								
10月		考査不実施	Lesson 14【経済】Level 2. Speaking「電子決済のメリットデメリット」をスピーチ					
			Lesson 15, 16【環境問題】Level 2. Speaking 環境問題についてプレゼンテーション					
11月		/	Lesson 17,18【技術】Level 2. Speaking「AIは人間に置き換わるか」をディベート					
			Lesson 19【SDGs】Level 2. Speaking「SDGsのため何ができるか」をディスカッション					
12月		考査実施	Lesson 20【SDGs】Level 2. Speaking「SDGsのため何ができるか」をディスカッション					
(3学期)		1月	/					
	2月	/						
	3月							

科目名	総合的な探究の時間	単位数	1単位	学年	3年	コース	特別進学	必修	
教科書	敬天愛人への歩み「人」のステージ								
副教材・参考書	課題研究メソッド(よりよい探究活動のために)								
授業の到達目標	「人」のステージ『世の中の役に立つ人材になる』。大学で自分が学びたい学問領域から、自らテーマを設定して「卒業探究」とする。大学進学後も、他校から来た学生をリードしていく姿勢を持ってもらいたい。また、他の生徒の研究・発表を正当に批評できる力もつける。探究テーマで残った疑問を持って次の進路に進んでもらいたい。								
授業内容・進め方	「テーマ設定こそが重要でどこまで掘り下げられるか」過去の生徒の事後アンケートでも明らかになっている部分を開始段階で書籍にヒントを求める。探究テーマ設定は卒業後の進路に関する学問的なものとする。個人探究であり、調べ学習に終わらず、問いを立て、アクションを起こし、そこからまた問いを巡らせるサイクルを確立したい。								
観点別評価の方法	【知識・技能】								
	【思考・判断・表現】								
	【主体的に学びに向かう態度】								
観点別評価の割合	知識・技能：思考・判断・表現：主体的に学びに向かう態度＝：：を原則とする								
授業スケジュール									
(1学期)	4月	/	11	【1】卒業探究①ガイダンス・「読んだ本について発表しよう」準備					
			18	②「読んだ本について発表しよう」発表					
			25	校外学習日					
	5月	/	9	【2】卒業探究①探究テーマの設定・探究計画書作成					
			16	②探究テーマの設定・探究計画書作成					
			23	中間考査週					
			30	③中間発表準備					
	6月	/	6	(キャリア教育セミナー)					
			13	④中間発表					
			20短	⑤中間発表					
			27	⑥探究の深化(中間発表と批評を受けて)					
	7月	/	4	期末考査週					
			11短	⑦大学教員等専門家とのマッチング					
(2学期)	9月	/	5	敬学祭準備日					
			12	⑧夏休みの活動報告と個人面談					
			19	⑨ ”					
			26	⑩探究サイクルの確認と実施					
	10月	/	3	⑪最終発表準備と個人面談					
			10	⑫ ”					
			17	中間考査週					
			24	⑬最終発表					
	11月	/	31	⑭ ”					
			7	⑮ ”					
			14	⑯ ”					
			21	⑰ ”					
	12月	/	28	⑱最終報告書作成・振り返りと今後の展望					
5			卒業考査週						